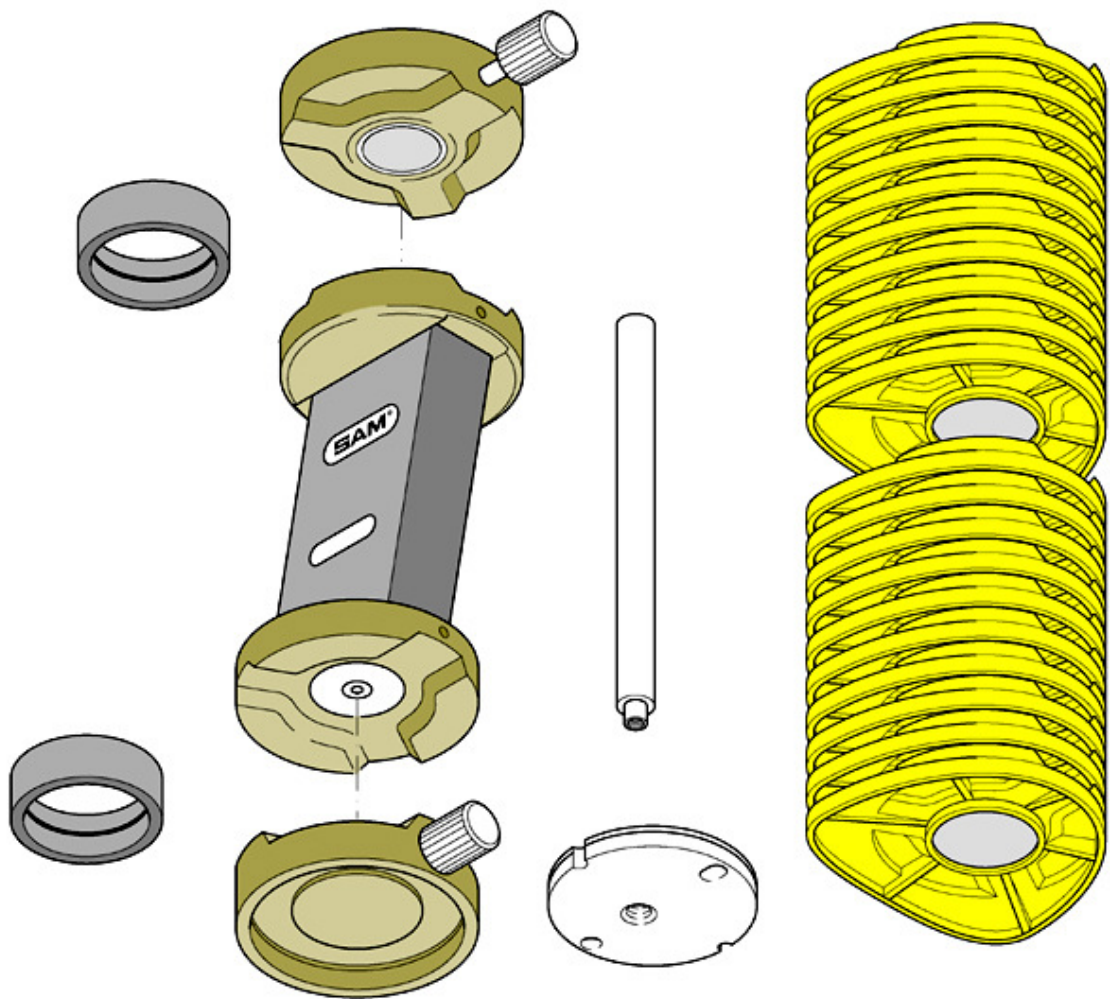


ASP システム セットアップマニュアル





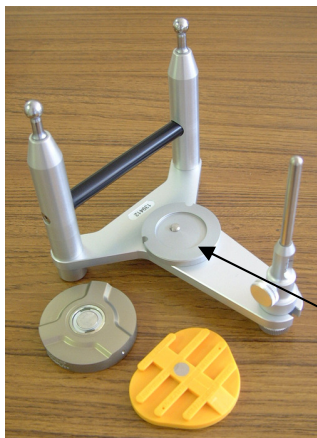
まずアキシオスプリットスターターキット S とアキシオスプリットを装着する咬合器を用意します。

また ASP540 アキシオスプリットマトリックスホルダーカップ(下顎模型弓側)を取り付けるためにキャストパターンレジンを用意します。



咬合器の上顎模型弓に ASP530 アキシオスプリットマトリックスホルダーを取り付けます。マウンティングスクリューはできるだけ固く締めてください。アキシオスプリットシステムは一度取り付けてセットアップしましたら二度と外さないことが前提となります。もしも外した場合は、再セットアップが必要になります。

矢状顎路角や側方顎路角は特に何度でも構いませんが、安定することを考慮して、矢状顎路角 45°、側方顎路角 5° にしておくといいでしょう。

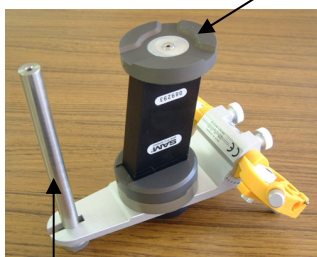


下顎模型弓には ASP540 アキシオスプリットマトリックスホルダーカップのスレッドリング(シルバーの丸い板)を取り付け、これもマウンティングスクリューを固く締めます。

サムスクリューを間違えて緩めないようセキュリティーリング(黒いリング)をサムスクリューに被せます。

スレッドリング

アキシオスプリットマスターチェックング



マスターインサイザルピン

咬合器のインサイザルピン、インサイザルテーブルを外し、それぞれのサムスクリュー(ツマミのついたネジ)を取り外します。

スターターキットの中にセットアップ専用のインサイザルピンが入っていますので、インサイザルピンもしくはインサイザルテーブルから外したサムスクリューを使用して咬合器に取り付けます。

上顎模型弓、下顎模型弓どちらに取り付けても構いません。

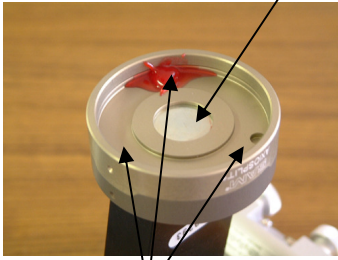
左の写真は、インサイザルテーブルのサムスクリューを使って、上顎模型弓に取り付けた例です。



マトリックスホールディングユニット

セットアップ用インサイザルピンを取り付けましたら、左の写真のようにアキシオスプリットマスターチェック(黒い基準器)を取り付け、さらに ASP540 のマトリックスホールディングユニットを取り付けます。これらはマグネットで固定されます。

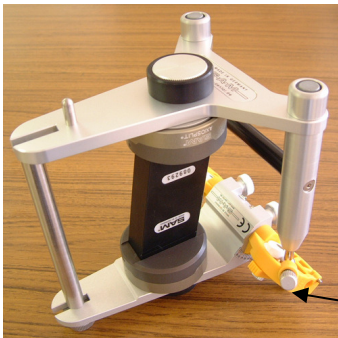
この部分にワセリンを塗布しておく



3ヶ所に少量のレジンを盛りつける

次に、キャストパターンレジンをシリコンカップ等で練和し ASP540 のスレッドリングとマトリックスホールディングユニットを仮着します。この時、マグネットの裏側にワセリンを塗布して、万が一レジンが流れ込んでもマグネットがレジンに着いてしまわないようにしておきます。

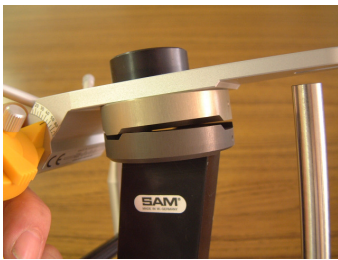
練和したキャストパターンレジンをホールディングユニットの 3ヶ所に少量盛りつけます。



セントリックロックスクリュー

レジンが固まる前に素早く下顎模型弓を載せ、セントリックロックスクリューを絞めます。

必要であればインサイザルピンから外したサムスクリューでマスターインサイザルピンを固定しておいてください。



十分に時間をおいて、キャストパターンレジンを硬化させましたら、上顎模型弓とマスターチェックの間をそっと分離します。マスターチェックが下顎模型弓側から外れないように手で押さえて、上顎模型弓を持ち上げると良いでしょう。

ASP530 アキシオスプリットマトリックスホルダーの全部に付いているネジを緩めて、マグネットを外します。



そっと上顎模型弓を下ろして、マスターチェックとの隙間を調べます。平面部は紙一枚が入る隙間がありますのでご注意ください。斜面部が均等に接触していれば OK です。



問題がなければ、ASP530 アキシオスプリットマトリックスホルダーのマグネットを戻し、咬合器を再び閉じて倒立させ、ASP540 のマトリックスホールディングユニットとスレッドリングの隙間に練和したキャストパターンレジンを流し込みます。

この時、咬合器の不要な部分にレジンが付着するのを防ぐため、予めテープを貼ってマスキングしたり、ワセリンを塗布しておくとも良いでしょう。



十分に時間をおいて、キャストパターンレジンを硬化させたら完成です。